

### 5) ケースA-1の事業費

ケースA-1の現況施設の整備費を算定した。

なお、ケースA-1施設概要のうち、取水施設（取水堰）については、既存施設を使用する。

費用の算定には「水道事業の再構築に関する施設更新費用算定の手引き（厚生労働省健康局水道課 平成23年12月）」における費用関数等を用いて算定した。

表 7.5.4 ケースA-1の事業費

#### d地区

施設名称	種類	規模(容量)	管路延長 (m)	更新費用 (百万円)
取水施設	取水堰(既設)	205.85m <sup>3</sup> /日		—
貯水施設	導水管(更新)	DCIP φ150mm L=460m	460	25
		DCIP φ100mm L=3,640m	3,640	179
浄水施設	沈殿池・ろ過機(更新)	56.69m <sup>3</sup> /日		142
	浄水池(更新)	8.0m <sup>3</sup>		1
送配水施設	配水池(更新)	100.0m <sup>3</sup>		11
	配水管(更新)	DCIP φ75mm L=3,800m	3,800	177
		PP φ50mm L=1,420m	1,420	51
	減圧槽(更新)	12.5m <sup>3</sup>		2
	減圧弁(更新)	φ100×2基、φ75×1基		3
計				591

#### e地区

施設名称	種類	規模(容量)	管路延長 (m)	更新費用 (百万円)
取水施設	取水堰(既設)	82.06m <sup>3</sup> /日		—
貯水施設	導水管(更新)	DCIP φ75mm L=530m	530	25
浄水施設	沈殿池・ろ過機(更新)	46.88m <sup>3</sup> /日		133
	浄水池(更新)	8.0m <sup>3</sup>		1
送配水施設	送水管(更新)	PP φ50mm L=3,200m	3,200	115
	配水池(更新)	100.0m <sup>3</sup>		11
	配水管(更新)	DCIP φ75mm L=2,520m	2,520	118
		PP φ50mm L=1,280m	1,280	46
	減圧弁(更新)	φ100×2基、φ75×1基		3
計				452

#### f地区

施設名称	種類	規模(容量)	管路延長 (m)	更新費用 (百万円)
取水施設	取水堰(既設)	80.0m <sup>3</sup> /日		—
貯水施設	導水管(更新)	DCIP φ75mm L=970m	970	45
		DCIP φ75mm L=820m	820	38
浄水施設	沈殿池・ろ過機(更新)	14.90m <sup>3</sup> /日		104
送配水施設	送水管(更新)	PP φ50mm L=170m	170	6
	配水池(更新)	60.0m <sup>3</sup>		7
		44.0m <sup>3</sup>		5
	配水管(更新)	PP φ50mm L=1,200m	1,200	43
計				248

合計	1,291
----	-------

改め(千円)	1,290,000
--------	-----------

## (2) ケースA-2

ケースA-2は、モデル地区取水施設のうち、最も高位に位置するe地区取水施設を水源として、e地区、d地区、f地区を統合し、それぞれの地区を1水源、1浄水場からの給水とする計画である。

### 1) 統合計画諸元

計画給水量は、7.4モデル地区での水道の検討ケースと計画諸元で算定した値とする。

計画一日最大給水量 : 118.47 m <sup>3</sup> /日 ≒ 120m <sup>3</sup> /日
-------------------------------------------------------------

### 2) 水源の選定

水源位置の選定は、全ての水源において安定した取水が可能であることから、最も高位に位置するe地区の既設水源をケースA-2の水源とした。

### 3) 浄水場の選定

浄水方法は、水質検査結果(表7.3.8)より基準を超える項目はなく、A-1と同じで、現在と同じ急速ろ過方式とした。

浄水場の位置選定は、用地の購入の可否や水源位置と配水区域との位置および水位関係によって効率的な位置の選定が必要となる。今回は、既設のe浄水場を機能増設(改良)することで、用地の最小化が図れることからe浄水場を統合後の浄水場とした。

ケースA-2における統合後の水位関係図および施設位置図を次頁以降に示す。



